

メッセージ 5
行政の祈りと権威の祈り

聖書：啓8:3-5. マタイ18:18. マルコ11:20-24

I. 香壇は神の行政の中心であり、香壇でささげられる祈りは宇宙を統治します——啓8:3-5：

- A. 啓示録は神の行政の書、神聖な執行の書であり、神の御座と宇宙全体における神聖な行政を啓示しています——4:2-3, 5, 9. 5:6。
- B. 啓示録において、神の行政を執行する中心は、実際には御座ではなく、香壇です。香壇は、神の権威の御座のすぐ前にあります——4:2-3, 5. 5:6. 8:3-5。
- C. 神の行政はわたしたちの祈りを必要とします。わたしたちの祈りは、キリストの天の務めに対する応答です。わたしたちが祈るとき、彼は行政を執行し、彼が行政を執行するとき、わたしたちは祈ります——ヘブル7:25. コロサイ3:1-2. 啓5:8. 8:3。
- D. キリストはもうひとりの御使いとして、香壇において地上に神の行政を執行します。それは、大祭司として、彼の聖徒たちの祈りをもって神に仕え、これらの祈りに彼の香を加えることによってです——3-5節：
 - 1. 金の香炉は聖徒たちの祈りを表徴します(5:8)。香はキリストと彼のすべての功績を表徴しており、聖徒たちの祈りに加えられます。それは、金の祭壇の上にささげられた彼らの祈りが、神に受け入れられるためです——8:3：
 - a. 香は、復活し昇天したキリストを予表します。彼は、神に受け入れられる唯一の方です——出30:34-38。
 - b. かぐわしいかおりとして神に立ち昇る祈りは、神の行政です——啓8:4：
 - (1)香は、わたしたちがキリストと共に、またキリストとして、祈りの中で神に行き、神に享受していただくことです——出30:34-38。
 - (2)このような祈りは、甘いかおりをもって神を満足させ、また同時に神のエコノミー、神の行政を遂行します。
 - 2. 聖徒たちの祈りがキリストの香と共に神に立ち昇るとき、神は彼の行政を遂行します——啓8:5：
 - a. 香は、行政の御座におられる神に立ち昇り、神は、聖徒たちの祈りに答えられます。その結果、火が地に下って神聖な裁きを執行しま

す——4-5節。

b. わたしたちの祈りに対して神の答えを注ぎ出すことは、神の行政と等しいのです。

c. これは、香壇が行政を執行する中心であり、それは神が彼の行政において、彼の裁きを執行するためであることの絵です——出30:1-6。

II. 最も重要な祈り、また最も霊的な祈りは、権威の祈りです——マタイ18:18. マルコ11:20-24:

A. 権威の祈りは、権威に基づいた命令です——イザヤ45:11. マルコ11:20-24:

1. 権威の祈りは、命じる祈りです——イザヤ45:11。

2. 神の御前で重みと価値のある祈りを持ちたいなら、わたしたちは神の御前で権威のある命令を発することができるべきです——マルコ11:23。

B. 権威の祈りには二つの面があります。すなわち、縛ることと解くことです——マタイ18:18:

1. 普通の祈りは、縛り、また解くことを神に求める祈りです。

2. 権威を伴った祈りは、わたしたちが権威を行使することによって縛り、また解く祈りです。

C. 権威をもって祈るとは、マルコ第11章20節から24節の祈りを祈ることです。それは、神に向けられているのではなく、「この山」に向けられている祈りです——23節:

1. 権威を伴った祈りは、何かを行なってくれるようにと神に求めるものではありません。むしろ、神の権威を行使し、この権威を適用して、取り除かれるべき問題また事柄を対処します——23節。

2. 権威を伴った祈りは、直接、神に求めることではありません。むしろ、神の権威を直接、適用することによって問題を対処することです——出14:15-27。

3. 勝利者の最も重要な働きは、御座の権威を地にもたらすことです。勝利者になりたいなら、わたしたちは権威をもって祈ることを学び、山に向かって語らなければなりません——啓11:15. 12:10。

D. 召会は権威をもって祈るとき、ハデス [陰府] を支配します——マタイ16:18:

1. 召会には権威があり、あらゆるサタン的な事柄を支配します。

2. 召会は、祈りによって邪悪な霊どものすべての活動を征服すべきであり、また祈りを通して支配権を行使すべきです——ルカ10:17-19. マ

タイ18:18。

- E. わたしたちが権威の祈りをしようとするなら、まずわたしたち自身が神の権威に服従しなければなりません。わたしたちが神の地位と神の権威に関して、日常生活の中で、またすべての実際的な事柄の中で、神の権威に服従しない限り、わたしたちは権威をもって祈ることはできません——イザヤ45:11. I ペテロ5:6. 啓22:1。
- F. 権威の祈りは、天をその出発点とし、地をその到着点としています——雅4:8. 6:10. エペソ1:22-23. 2:6. 6:18:
1. 権威を伴った祈りは、天から地へと祈られます。すなわち、それは天上の地位から始まり、天から地へと下に向かいます——2:6。
 2. 下に向かう祈るとは、キリストが天上でわたしたちに与えてくださった地位に立つこと、権威をもってサタンに命じ、彼のすべての働きを拒絶すること、神のすべての命令は成し遂げられるべきであることを権威をもって宣言することです——マタイ6:9-10。
- G. 祈りの地位は昇天の地位であり、祈りの権威も昇天の権威です。昇天におけるすべての祈りは、権威の祈りです——エペソ2:6. 1:22-23:
1. 権威の祈りとは、昇天の地位に立つことによって命令を発することができる人による祈りです——イザヤ45:11。
 2. わたしたちが昇天の地位にいるなら、わたしたちの祈りは神の行政に等しいのです。それは彼の命令を執行することです——啓8:3-5。
- H. わたしたちが天の地位と天の権威を持ち、こうして権威のある祈りを発することができるという程度になるとき、わたしたちは御座におり、主と共に王として支配します——エペソ2:5-6. 啓3:21. 参照、エゼキエル1:26:
1. この時点で、わたしたちの祈りは、権威のある祈りであるだけでなく、王として支配する祈りでもあり、わたしたちの祈りは神の行政、すなわち神の支配の執行となります——ローマ5:17, 21. マタイ18:18. 啓8:3-5。
 2. わたしたちが自ら進んで学ぶなら、わたしたちは神の永遠の定められた御旨の成就のために、そのような祈りを発することができるというところに到達することができます——エペソ1:10-11. 3:9-11。